

令和5年度 事後評価シート

【事務事業シート（政策的経費）】

1 当初	事 項	スクール・サポート・スタッフ配置事業費										予算主管課		義務教育課		
	事 業 概 要	教材作成の補助、各種調査等の集計など教員の事務業務を補助するスクール・サポート・スタッフを配置することで教員の負担軽減を図り、児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備する。										始期		H30		
												終期				
	K P I	スクール・サポート・スタッフ配置校における時間外勤務月 8 0 時間を超える教員の割合														
		KPI種別	下がるが良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		時点・期間	R3年度		時点・期間	R 5年度	時点・期間	R 6年度	時点・期間	R 7年度	時点・期間	R 8年度				
		現状値	小学校11.3 中学校20.4	%	目標値	小学校6 中学校10	%	目標値	小学校0 中学校0	%	目標値	小学校0 中学校0	%	目標値	小学校0 中学校0	%
					実績値	小学校7.9 中学校12.5	%	実績値		%	実績値		%	実績値		%
					達成率	小学校75.9 中学校80.0	%	達成率		%	達成率		%	達成率		%
		コ ス ト			最終現計予算額	70,442 千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円	
	決算額				66,586 千円		決算額	千円		決算額	千円		決算額	千円		
5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 学校単位で考えると、配置校の94%は、 1 週間当たりの時間外勤務時間が20時間未満となっており、当該校に勤務する教員は目標を達成していると考えられるものの、個々の教員の実態を捉えたときには、「遅くまで残る教員」「一部の教員への業務の偏り」などがあり、目標達成には至らなかった。														
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）														
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5 年度の目標達成率は想定よりも低調であったものの、小中学校ともにKPIが下がるなど成果は着実に表れており、スクール・サポート・スタッフの配置拡充による勤務時間の縮減及び各学校における学校行事等を含む教育課程の見直し、意識改革等を推進することにより、更なる成果の向上が期待できることから、 6 年度の執行方法や 7 年度予算の見直しは想定していない。													